

仕 様 書		
屋内訓練場排ガス洗浄装置の整備	仕様書番号	第 3 9 号
	作成年月日	令和7年7月28日
	作成部隊名	化学学校教育部

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、化学学校教育部において使用する屋内訓練場排ガス洗浄装置（オリエンタル技研工業株式会社製、型番HC-B100079他一式、2012年度納入 以下同じ）の部品及び活性炭交換作業について規定する。

1.2 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

1.2.1 法令等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法令第137号）

2 部品交換作業に関する要求

2.1 屋内訓練場における円滑な教育訓練を実施するため、排ガス洗浄装置を常に良好な状態に維持することを目的とする。

また、資材の積み下ろしについては、契約者側で実施するものとする。

2.2 屋内訓練場排ガス洗浄装置スクラバー5基のうち、本役務において排気ファン部品の交換を実施するのはSCF-3、SCF-4とする。

2.3 交換する部品等は、表1による。

表1－交換部品表

番号	品名	規格	単位	数量
1	オイルゲージ	セイコー化工機製 No. 29	個	1
2	Vプーリー（モーター側）	セイコー化工機製 No. 26-φ224	式	1
3	Vプーリー（ファン側）	セイコー化工機製 No. 26-φ100	式	1
4	送風機軸受け（ベアリング）	セイコー化工機製 #6307, #6308	組	1
5	Oリング	セイコー化工機製 S-80, S-90	組	1
6	Vリング	セイコー化工機製 V-32A, V-45A	組	1
7	オイル	セイコー化工機製 ISO VG 32相当	ml	130
8	モーター軸受け	セイコー化工機製 6306ZZ, 6308ZZ	組	1

3 活性炭交換作業に関する要求

- 3.1 屋内訓練場排ガス洗浄装置スクラバー5基のうち、本役務において交換を実施するのはSCF-4とする。
- 3.2 資材の積み下ろしについては、契約者側で実施するものとする。
- 3.3 交換する活性炭は、ヤシガラ活性炭1170kgとする。
- 3.4 SCF-4スクラバー内に入っていた古い活性炭は、法令等の示すところにより後日処理できるように契約者側が配慮するとともに、契約者側で準備するフレコンバックなど教逸の恐れのない状態にした上で、官側の指定する大宮駐屯地内の場所に契約者が運搬・設置するものとする。

3.5 交換部品

交換部品は、表2による。

表2－交換部品表

番号	品名	規格	単位	数量
1	ヤシガラ活性炭 (塩素ガス#4-8破碎炭)	セラケム製	kg	1170

4 交換作業の時期及び期間

令和7年11月28日までに作業を完了とするも、細部は、化学学校教育部と調整する。

5 検査及び品質保証

検査及び品質保証については、次による。

- a) 活性炭の交換の際は、新しく入れる活性炭が新品であることを証明する資料を監督官に提示するものとする。
- b) 完成検査は、検査官立会のもと試運転を実施するものとする。
- c) 活性炭の交換後は、製造会社の規定する排ガス洗浄装置の性能を満たすものとする。
- d) 契約者側の点検実施者は屋内訓練場排ガス洗浄装置の構造機能に精通し、かつ十分な知識と経験を有する者でなければならないものとする。
- e) 契約期間中に本装置に異状が生じた場合は、前項の性能に維持できる様、迅速に対処するものとする。

6 提出書類

提出書類は、表3による。

表3－提出書類

番号	書類名	数量	提出先	記載内容	提出時期
1	作業員名簿	1部	検査官等	a) 会社名、氏名及び年令を記入する b) 契約の相手方の随意様式とする	契約後速やかに
2	作業記録	1部	検査官等	a) 作業記録(役務完了調書)：別紙 b) 点検者の氏名及び押印を明記する	作業完了の都度
3	作業写真帳	1部	検査官等	契約の相手方の随意様式	作業完了の都度

7 その他の指示

- a) 使用する重機、運搬車両、器材、工具、フレコンバック等は、契約者側で準備し、官側の重機・資材等は使用しないものとする。
- b) 交換作業中の安全管理、作業現場の規律等は、契約の相手方が責任をもって実施するものとする。
- c) 交換作業に起因する災害事故、既設物品の損傷、施設等の損傷は、契約の相手方が全て責任を負うものとする。
- d) 保守整備で使用する施設、電気、用水等の使用は契約担当官等の許可を得て使用することができるものとする。

る。

- e) この仕様書の内容に関し疑義が生じた場合は、契約担当官の任命する検査官等と協議し、その指示を受けるものとする。

作業記録（役務完了調書）			
実 施 年 月 日		監督官	検査官
契 約 業 者 名			
実 施 場 所			
実 施 者 名			
所 属 部 門			
作 業 内 容			
作業細部	実施時刻	工数	必要事項または所見
備考 1. 本表は原則として役務員本人が作成するものとする。 2. 必要事項を記入後、監督官及び検査官等の確認を受けるとともに、検査官に提出するものとする。 3. 今後の参考となる事項、役務員の所見は、可能な限り詳細に記入するものとする。			